

# 平成30年度事業計画

## 総論

自. 平成30年4月 1日

至. 平成31年3月31日

平成29年度の我が国の経済状況は、緩やかな回復基調が続いており、平成24年12月からの景気拡大期間は、戦後2番目の長さになった。海外経済の回復が続く中でも外需については輸出の伸びが緩やかにとどまり、景気の回復力は力強さが欠けている。

平成29年の春闘は、政府から経済界への働きかけもあり、4年連続のベースアップが実現したが、最も小さい上げ幅であった。また、多くの産業では雇用状況の改善が見られ就業者数は増加しているものの、人手不足の深刻化による事業活動への影響が懸念されている。

為替に関しては一時の円安から円高傾向となり、さらに原油価格については産油国による協調減産により現在はやや上昇している。

国内物価上昇は、原油価格の底打ちによるエネルギー価格の上昇や、輸入物価の上昇などによりプラスで推移はしているものの、上昇テンポは鈍化し当初のインフレ目標を下回る状態が続いている。中小企業、地方などには景気回復の恩恵が及んでおらず、賃金上昇や消費改善の景気の好循環が広く及ぶよう、一層の力強い経済対策の実行が期待される。

世界経済を見ると、EUでは混乱が予想されたフランス大統領選挙が波乱なく終了したことや、イタリアの金融不安が後退したことで不透明感がやや薄れた。

また、我が国を取り巻く世界情勢において、北朝鮮情勢の緊迫化などの地政学的リスクや、米国の政治動向、中国の景気失速懸念などの不透明な要因が多くあり、景気下振れリスク要因となっている。

平成30年度はデフレからの脱却を確実なものにし、経済再生と財政健全化の実現に向けて、政府は従来から進めている各種政策の推進が望まれており、さらに、人づくり革命、生産性革命の2本柱の施策の具体化のための新政策の策定も、働き方改革実行計画に基づいた関連法案の成立が見込まれ、個人消費と輸出を中心に緩やかな景気回復の動きが続き、企業収益についても設備投資の増加基調が維持され、引き続き景気の下支えとなることが期待される。

自動車については、高齢運転者による交通事故増加対策の一環として、国が衝突被害軽減ブレーキなどの安全運転を支援するシステムを装備した車両の愛称を、「サポカー、サポカーS」として普及を進めている。今後は超高齢社会を迎えるに際し、交通事故防止に繋がる電子制御装置を搭載したこれらの車両が増加することが予想される。その一方、総保有台数については、我が国の人口減少により現在の微増の状況からいずれ減少

に転じる機会が訪れるものと予測される。

このような整備業界を取り巻く状況にあって、自動車の整備技術の高度化に向けた対応や、我が国が抱える構造問題により一層の厳しさが増している少子化の影響で、若年労働者の採用難への対応も同時に求められ、整備業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にある。

平成30年度事業においては、喫緊の問題となっている整備士等の人材不足への対応、急激に進む新技術への対応、健全な経営の徹底を重点事項として取り組み、将来に向けて業界の持続的な繁栄を目指し、業界全体の活性化と経営基盤の確立を推進するため、以下の諸事業を推進して参ります。

#### 「自動車整備事業健全化対策」

成年となる本年、犬をモチーフにしたキャラクターである「てんけん Jr.」を活用し、自動車ユーザーにとって自動車整備業界がより身近な存在となれるよう、テレビCMやオリジナルグッズを用いてPRします。

#### 「点検整備普及促進対策」

国土交通省等が展開する「自動車点検整備推進運動」を中心に、チラシやマスメディアを活用し、点検・整備の重要性を自動車ユーザーに訴求します。

懸賞付き定期点検整備促進キャンペーンや支部・ブロックが実施する点検教室を機に、定期点検整備の促進を図ります。

#### 「自動車ユーザー対策」

本会が開催するイベントや、本会が協賛する外部のイベントにおいて点検・整備の確実な実施を呼びかけ、ユーザー保守管理責任の意識高揚を図ります。

#### 「環境保全・省資源対策」

会員事業場における自動車リサイクル法の適正運用及びリサイクル部品の活用推進を図り、循環型社会の確立に努めます。

#### 「指定整備事業推進対策」

全国的に多発している指定整備工場の不正行為が会員事業場でおこらないよう、各種研修会の機会を通して会員に呼びかけ、愛媛運輸支局と連携して法令順守精神の高揚に努めます。

#### 「整備技術向上対策」

ハイブリッド車、電気自動車の普及をはじめとする自動車の電子制御技術に対応した

整備技術講習の開催、安全及び環境性能の向上と共に高度な電子技術が搭載された車両が増加し、それらを的確に整備及び故障診断できる事業場を広く一般ユーザーに認知していただくためのスキャンツール認定制度の活用と故障診断に必要なアイテムであるファイネスの加入促進に努めます。

#### 「教育事業推進対策」

各支部主催の人材育成事業に支援を行ないます。

#### 「技術講習所対策」

二種養成施設の充実を図り、年々受講生が減少傾向にあることから、技術講習所の運営対策を検討します。

#### 「行政・各種団体円滑化対策」

運輸支局、軽自動車検査協会の行う業務に協力するとともに法令改正及び税制改正への対応に努めます。また、各行政機関及び自動車関係団体との連携を図り、業界の繁栄と活性化の推進に努めます。

#### 「広報、公益活動関係対策」

ユーザーに対する交通安全の啓発や整備業界についての理解と認識を高める為、広報事業、公益事業、社会還元事業の実施に取り組みます。また、ラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレート及び東京五輪特別仕様ナンバープレートに加えて愛媛県版シート式ナンバープレートの交付に伴い普及促進を図るとともに、更なる希望番号率向上を目指し広報活動を行います。

#### 「組織運営対策」

定款及び規約に定められた諸事業を実行し、一般社団法人として公益目的支出計画に基づいた継続事業の確実な実施を図ります。また、支部・ブロック・青年部等下部組織及び商工組合の事業活動を支援するとともに自動車整備業界功労者に対する各種表彰の具申を行います。